

平成25年度

教科・科目名 科学年系コース	古典 普通科 3年 文系	授業時間数/週	2時間
授業の目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって、人生を豊かにする態度を育てる。		
授業内容の方法	教科書・学習課題ノートを使用しながら、学習を進めていく。便覧などを使用し、視覚教材も利用していく。		
評価方法について	試験 80点 評点20点		
使用テキスト 教科書 副教材	精選 古典 明治書院 精選 古典 学習課題ノート 明治書院 新国語便覧 第一学習社 新国語便覧準拠ノート 第一学習社		
年間授業計画	前期 4月 歴史的仮名遣い確認 4・5月 大鏡 係助詞 5・6月 紫式部日記 助動詞 7・9月 漢文基礎確認 (漢文)新婚別	後期 10月 蜻蛉日記 助動詞 11月 和歌・歌論 助動詞 12月 (漢文) 長恨歌 1・2月 (漢文) 墨子・老子	

平成25年度 古典 普通科3年 文系 年間学習計画

学期 月 配当時間	単元 項目 学習内容	学習のねらい ポイント	学習活動 (評価方法)
前期 4月 配当時間 9時間	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣い確認 ・大鏡(三船の才) ・係助詞 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いの使い方を再確認させる。 ・三船の才では道長の大人物ぶりに注目させる。 ・係助詞の用法を確認し、文法的な読解をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な人物が登場する本教材から、敬語に注意して人物関係を把握し、それぞれの人物の言動や心情を読み取る。 ・政治家である道長、文化人である公任の対比を理解し、歴史物語の面白さを体感する。 (前期試験)
5月 配当時間 9時間	<ul style="list-style-type: none"> ・大鏡(面をや踏まぬ) ・紫式部日記(秋のけはひ) ・係助詞 ・助動詞 	<ul style="list-style-type: none"> ・若き日の豪傑な道長像を理解させる。また兄たちとの対比、公任との対比を理解させる。 ・古典を親しむこと、読解力を高めるとともに日本の伝統的な文化や精神を学んで、我が国の文化の足許固めをすることをねらいとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紫式部日記の文学的な位置を把握する。 ・登場人物の心情を理解する。 ・文章の内容を味わいながら丁寧に読み、日本の伝統的な美意識について考える。 (前期試験)
6月 配当時間 9時間	<ul style="list-style-type: none"> ・紫式部日記(秋のけはひ)(和泉式部・清少納言) ・助動詞 	<ul style="list-style-type: none"> ・この時代の宮中や貴族、女房階級の生活を知るよき機会とする。 ・和歌文学の伝承を受け継ぎつつ、新しい仮名散文で作られている本作品は日本文学史を立体的に理解するのに非常に適している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紫式部日記の文学的な位置を把握する。 ・登場人物の心情を理解する。 ・文章の内容を味わいながら丁寧に読み、日本の伝統的な美意識について考える。 (前期試験)
7月 配当時間 9時間	<ul style="list-style-type: none"> ・紫式部日記(和泉式部・清少納言) ・助動詞 ・漢文基礎確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・「侍り」を多用した消息文の体裁による、同僚女房達への批判を鑑賞させる。 ・三者三様の個性を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紫式部、清少納言、和泉式部の三者三様の個性を理解する。 ・紫式部の鋭い人間観察を理解し人を見る目のあり方を考える。 (後期中間試験)
9月 配当時間 9時間	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文基礎確認 ・(漢文)新婚別 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文解釈のための基礎を再確認する。 ・漢詩の内容を大筋で理解させ、慣れさせる。 朗読や暗唱を通して表現の美しさを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女の深い愛情や他人を思いやる心情、表現ににじみ出る美意識を理解する。 ・漢詩の持つ美意識や表現の特質に注意し、凝縮された表現を深く味わう。 (後期中間試験)
後期 10月 配当時間 9時間	<ul style="list-style-type: none"> ・蜻蛉日記 ・助動詞 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の基礎が築かれた平安期の作品を学ぶことで、さらに古文の読解力を高め、古典の世界に親しみ、そして日本の伝統的な文化や精神を学ぶことをねらいとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「蜻蛉日記」の文学史的な位置を把握させる。 ・内容を理解させ、登場人物の心情を理解させる。 ・文章を味読し、日本の伝統的な美意識について理解する。 (後期中間試験)

<p>11月 配当時間 9時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌、歌論 ・助動詞 	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌は日本的な心や美を象徴するものとして、いつの時代も人々の心をとらえてきたことを理解させる。 ・歌論を読むことで、和歌に対する古人の考え方を知り、和歌の本質や効用などについて、より理解を深めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上代から近世までの文章を通して、広く和歌という短詩形による美の世界を読んでいく。 ・和歌に対する古人の考え方を知り、和歌の本質や効用などについて、より理解を深めていく。 (後期中間試験)
<p>12月 配当時間 9時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(漢文)長恨歌 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日まで日本で愛読され続ける長恨歌を学ぶことによって、日本文化の淵源を理解させる。 ・長恨歌は源氏物語に多大な影響を与えた作品である、これらが日本人の心情や文学的発想に大きな影響を与えたことを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・詩の簡潔、流麗な表現やそこに込められた深い心情に触れる。 ・言語感覚や思索性を育みながら人間の普遍的な感情を理解する。 (後期期末試験)
<p>1月 配当時間 9時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(漢文)墨子老子 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日有名な儒家も単独で存在したわけではなく、これらの思想とせめぎ合いの中で自らを鍛えていった。これらの思想の一端に触れて、現代に生きる我々の人生観、世界観の形成に資することをねらいとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な学派である、墨家や道家の思想に触れ、中国古代の抽象的思惟の骨格を学ぶ。 ・新しい時代を目指す様々な思想的営みを知る。 (後期期末試験)
<p>2月 配当時間 9時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(漢文)墨子老子 	<ul style="list-style-type: none"> ・今日有名な儒家も単独で存在したわけではなく、これらの思想とせめぎ合いの中で自らを鍛えていった。これらの思想の一端に触れて、現代に生きる我々の人生観、世界観の形成に資することをねらいとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な学派である、墨家や道家の思想に触れ、中国古代の抽象的思惟の骨格を学ぶ。 ・新しい時代を目指す様々な思想的営みを知る。 (後期期末試験)
<p>3月 配当時間 時間</p>			